



# Team Dainan

八千代市立大和田南小学校  
《校長室だより》  
令和3年度 第10号  
令和3年 6月 2日

## 有罪？ 無罪？ さて、判決は… ～6年生模擬裁判～



模擬裁判の様子

6年生は社会科「くらしと政治」において、国会と内閣と裁判所の三権相互の関連、裁判員制度などについて学習します。

保護者の皆さまの中には、裁判員として裁判に参加された方もいるのではないのでしょうか。裁判員制度は、平成21年5月21日に始まりました。皆さんもご存知のように、この制度は、国民の中から選ばれる裁判員が刑事裁判に参加する制度です。裁判員は、法廷で行われる審理に立ち会い、裁判官とともに被告人が有罪か無罪か、有罪の場合にはどのような刑にするのかを判断します。

6年生の子供たちは、裁判員制度について学習するために、模擬裁判を体験しました。子供たちが、裁判官・検察官・弁護人役となって刑事裁判を体験することで、司法や社会に興味をもってもらうことをねらいとしています。また、検察官・弁護人役では、自分の立場を前提に深く考え、他人を説得するために意見を述べることを学びます。裁判官役では、公正に人を裁く手段として証拠・証言を見極めることが必要となるため、論理的思考力を養うことができます。また、中立的な立場での判断の難しさを学ぶことができます。

今回の模擬裁判で扱った事件は、友達の家遊びに行った際に、ゲーム機を盗んでしまったという想定です。模擬裁判は、あらかじめ台本が用意されており、どのように審議が進んでいくのかわかりやすく学ぶことができます。

しかし、台本があるのは弁論手続きまでです。裁判官とともに判決を決めるための話し合い、評議からは台本がありません。裁判員として、検察官や弁護士のやり取りから判断を下さなければなりません。したことを重く受け止めてほしいという思いを込めて判断をした子、被告人の気持ちをくんで判断をした子など同じ判決でもそこに至る思いが皆とても深かったです。

学習後の子供たちの感想を紹介します。



模擬裁判の様子

・裁判は、とても難しく、とても悩んだ。冷静に判断するのが大事だとわかりました。私は、6万円ちょうど(判決)なのですが、誰の意見にもあまり賛成できませんでした。唯一賛成できたのが芽衣さんの意見でした。「悪意はある、けれど自分だけ持っていないくてさみしい」その気持ちに「確かに！！」と納得できました。

自分の思う行動をするのではなく、先のことを冷静に考えて、しっかりと判断することを大事にしようと思いました。

した。この世界に簡単に何も考えずに行動したり、発言したりしていいことはない、考えて行動したりするのは、みんなのためであり、自分のためでもあるとわかりました。裁判の難しさを知り、こういう仕事を少しでも減らせるように、少しでも犯罪が減るといいなと思いました。(愛実さん)

・他の人の意見を聞いてみて、「そういうのもあるのか」と思えたけれど、罪を犯したことには変わらないので「6万円以上の罰金」になってよかった。また、自分が考えていたことも友達の意見によって深まってよかった。自分は、裁判員だけど、本当の裁判が行われるときは、どうなるのか、とても気になった。今後に生かそうと思ったことは、自分の意見だけを強く見ないで、他の意見も取り入れて、過ごしていきたいと思った。(正明さん)

・超楽しかったです。反対派の意見の人と対立して話すことで、自身のボキャブラリーが高まり、証人をやってみて、証人は、判決を下すにあたって重要な役割を果たすと思うので、リアルな裁判だったら、本当にうそ偽りのない発言をしなければならないと思いました。また、反対派の意見にも共感できる部分もあったので、今後は、今よりももっとしっかりと他の人の意見も聞いていきたいと思いました。自分が言ったことが正しいのか等も裁判では、とても重要になるんだなと思いました。間違った判決は絶対に下せず、なおかつ、公正で、平等な立場でなければならない裁判官や裁判長は、気を引き締めなければならないと感じました。(莉桜さん)

・数の暴力がひどかった。(6万円)以下の方があまりにも少なかったので、「あ、裁判って問答無用なんだな…」って思った。6万円以下って、半分立ったところから無理だろうなって確信していた。これが現実なんだなと思った。結構ぼろくそに言われたので、ぼくは心の中で泣いていました。でも、楽しかったです。(後略) (聖真さん)

・今日の学習を通して、この2時間はとっても未来へつながるよい経験だったと思うし、人の意見もしっかりと取り入れることも大切だけど、自分の意見もみんなにしっかりと主張できたのでよかったです。(中略)私も将来裁判官のような人のためにできる仕事をしたいなって、この学習を通して思いました。(後略) (友梨菜さん)

・他の人の意見を聞いたら自分の考えと全く違う意見の人もいたから、もし、次やるとしたらそのとき考えた自分の意見の逆の人のことも考えてみたいと思いました。裁判をやる前は、「いやだな」と思っていたけど、実際やってみたらいろいろな人の意見を聞くことができたので、もっとやってみたいと思いました。(後略) (優香さん)



模擬裁判後の話し合い